

清和源氏まつり復活

市の伝統行事を3年ぶりに開催。沿道は大にぎわい





今年の舞台は能勢口周辺

源氏ゆかりの武者たちが織りなす時代絵巻

春の訪れを告げる川西の風物詩、源氏まつり。4月10日、3年ぶりに開催された。

今回から、清和源氏発祥の地であることを広く知らせるため、名称を「清和源氏まつり」に改称。多田地域の歴史的背景を大切にしながら、中心市街地に場所を移した。

成功を願い、祭りの前には源満仲公役らが多田神社でご祈禱する。アステ川西びいぶう広場で口上を述べた後、市役所で稚児や少年少女武者らと合流。総勢220人となった行列は、騎馬武者を最後尾に出発し、キセラ川西せせらぎ公園まで練り歩く。

懐古行列が行われた沿道には、市内外から約7000人が訪れ、華麗な時代絵巻を楽しんだ。

Caption

1_ 巴御前役の眞野梨穂奈さん
2,3,4,5_ 多くの市民が祭りに参加
6_ 「清和源氏まつり写真コンクール」の金賞作品
7,8,9,10_ 源氏ゆかりの武者やバンドなどが市街地を練り歩く
11_ 沿道は市内外から訪れた観覧客でにぎわった
12_ 駅前やアステ川西でも多くの催しが行われ、祭りを盛り立てた